

# 総合人間科学講座

## 英 語

### 1 構 成 員

|                | 平成18年3月31日現在 |
|----------------|--------------|
| 教授             | 1人           |
| 助教授            | 1人           |
| 講師（うち病院籍）      | 0人（0人）       |
| 助手（うち病院籍）      | 0人（0人）       |
| 医員             | 0人           |
| 研修医            | 0人           |
| 特別研究員          | 0人           |
| 大学院学生（うち他講座から） | 0人（0人）       |
| 研究生            | 0人           |
| 外国人客員研究員       | 0人           |
| 技術職員（教務職員を含む）  | 0人           |
| その他（技術補佐員等）    | 1人〈外国人教師〉    |
| 合 計            | 3人           |

### 3 研究業績

数字は小数2位まで。

|                     | 平成17年度 |
|---------------------|--------|
| (1) 原著論文数（うち邦文のもの）  | 2編（0編） |
| そのインパクトファクターの合計     | 0      |
| (2) 論文形式のプロシーディングズ数 | 1編     |
| (3) 総説数（うち邦文のもの）    | 0編（0編） |
| そのインパクトファクターの合計     | 0      |
| (4) 著書数（うち邦文のもの）    | 1編（1編） |
| (5) 症例報告数（うち邦文のもの）  | 0編（0編） |
| そのインパクトファクターの合計     | 0      |

#### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

##### A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Endo, Y: The Revisioning the Real: Film director Shinoda Masahiro's Emphatic Use of Kurogo in Shinj? Ten no Amijima 浜松医科大学紀要 一般教育 20: 37-53.
2. O'Dowd, V.G: *Student Expectations of Medical School and the Ripple Effect*. Reports of 浜松医科大学紀要 一般教育20: 55-64.

インパクトファクターの小計 [0.00]

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. *An Introduction to Life Long Learning Skills*. Japan Association of Language Teachers Proceedings of the 30<sup>th</sup> Annual International Conference, Nara 123-128, 2004.

## (4) 著 書

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kennedy, N. 菱田治子. 医学英語II メディカルビューー社 2005年12月

## 4 特許等の出願状況

|              | 平成17年度 |
|--------------|--------|
| 特許取得数（出願中含む） | 0件     |

## 5 医学研究費取得状況

|                    | 平成17年度   |
|--------------------|----------|
| (1) 文部科学省科学研究費     | 0件 (0万円) |
| (2) 厚生科学研究費        | 0件 (0万円) |
| (3) 他政府機関による研究助成   | 0件 (0万円) |
| (4) 財団助成金          | 0件 (0万円) |
| (5) 受託研究または共同研究    | 0件 (0万円) |
| (6) 奨学寄附金その他（民間より） | 0件 (0万円) |

## 7 学会活動

|                 | 国際学会 | 国内学会 |
|-----------------|------|------|
| (1) 特別講演・招待講演回数 | 0件   | 0件   |
| (2) シンポジウム発表数   | 0件   | 0件   |
| (3) 学会座長回数      | 0件   | 0件   |
| (4) 学会開催回数      | 0件   | 0件   |
| (5) 学会役員等回数     | 0件   | 1件   |
| (6) 一般演題発表数     | 0件   |      |

## 8 学術雑誌の編集への貢献

|                    | 国内 | 外国 |
|--------------------|----|----|
| 学術雑誌編集数（レフリース数は除く） | 0件 | 0件 |

## 9 共同研究の実施状況

|            | 平成17年度 |
|------------|--------|
| (1) 国際共同研究 | 0件     |

|            |    |
|------------|----|
| (2) 国内共同研究 | 1件 |
| (3) 学内共同研究 | 0件 |

(2) 国内共同研究

聖隷クリストファー大学助成金プロジェクト 平成17年～平成19年

研究題目：対人援助職者に求められる日常生活および動作英語とその習得度：日本と中国の看護・医療

研究者：平野美津子（聖隷クリストファー教授），顧 寿智（聖隷クリストファー教授），Nell Kennedy（酪農学園大学教授），主 京慈（第3軍医大学教授），菱田治子（浜松医科大学助教授）

助成金額：512,250円

10 産学共同研究

|        |        |
|--------|--------|
|        | 平成17年度 |
| 産学共同研究 | 0件     |

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

1. 森下直貴，遠藤幸英，清水邦彦，塚原久美（共同翻訳）

ウィリアム・R・ラフルーア著『水子—〈中絶〉をめぐる日本文化の底流』（青木書店 2006年1月）

15 新聞，雑誌等による報道

1. 『水子—〈中絶〉をめぐる日本文化の底流』に関する田中優子氏の書評．『毎日新聞』2006年2月12日．